

お取引様 各位

## お客様アンケートご報告

拝啓 貴社ますますご盛栄にこととお喜び申し上げます。

毎々格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、この度は、ご多忙の中、弊社業務に関するアンケート調査にお応えいただき、ありがとうございます。

4月分アンケート調査の結果について集計致しましたので、いただきましたご意見の一部をご紹介します。

ご意見①

**「これからの季節（暖くなる時期）  
コバエを見かけやすいです。」**

・ご意見いただいた店舗様はコバエの中でも特にチョウバエの発生がありました。チョウバエは一年の中で発生が多くなる時期があります。水が溜みやすい厨房のシンク周りの床や、建物の汚水溝などは生息箇所になりやすく注意が必要です。弊社のコバエ駆除は、発生時期のピークにあわせて定期点検を行い、発生前に対処します。ご意見いただいた店舗様にも伺わせていただいております。今後とも発生が無い様してまいりますので、よろしくお願い致します。

ご意見②

**「ネズミの被害、特に臭いが気になります。」**

・申し訳ありません。ネズミは不潔な為ネズミ自体も獣臭く、さらに屋内に潜ってしまった場合のフンや尿、さらに死んでしまった場合の腐敗臭はかなり鼻についてしまいます。弊社はネズミの臭い対策として消臭製品もそろえております。ご意見いただいた店舗様にも全力を以って只今対応させていただいております。よろしくお願い致します。

ご意見③

**「昨年蟻の対処をしていただいたの覚えていて  
下さり、今回も施工の際に対処していただき  
ましてありがとうございます。」**

・とんでもございません。屋内で発生してしまう害虫は、ゴキブリだけではなく、ご意見いただいた店舗様は蟻の侵入が時折ある様で、ゴキブリ駆除の施工時に蟻にも効くベイト剤を併用させていただきました。本契約対象害

虫以外でもサービスの範囲内になりますが、お困りの事があれば出来る限り対処します。宜しくお願いします。

一部でございますが以上の様なご意見・ご指摘いただきました。いただいたご意見・ご指摘は全て真摯に受け止め改善してまいります。

どうぞこれからも、忌憚のないご指導・ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

また引き続き、皆様からいただいたご意見等をご紹介しますので、重ねてよろしくお願い致します。

敬具

2月よりアンケート調査を毎月行っております。  
引き続きご協力いただければと存じております。

アンケート専用FAXのフリーダイヤルを設置して  
おりますので、こちらもご利用くださいませ。

お客様アンケート  
お問い合わせ専用FAXフリーダイヤル

見ないムシ

0120-32-3164

※一都八県以外はご利用出来ません。  
(東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨・静岡)



# FCC News

2012年6月号 No.0098



Index

お客様アンケートご報告

社長コラム&社員コラム

季節のムシ暦(55)

生活の豆知識&商品紹介

株式会社FCC



〒251-0043

神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

Tel 0466-31-3164

Fax 0466-31-3174

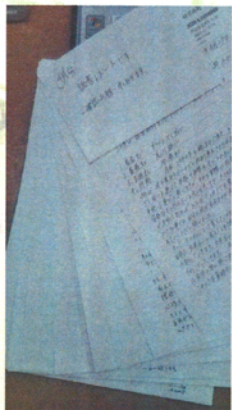
URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail [info@fccsystem.co.jp](mailto:info@fccsystem.co.jp)

# 社長コラム

## 読書レポート

今日出社すると、4月の読書レポートがあがっていました。全社員分目を通します。



遠回りしないように、との思いで私が読んでとて為になった本を置いてあります。300冊以上はあるかと思われます。

ただこれは社員が自発的に言い出したことでもあります。月に1冊以上読んで感想レポートを社長に提出しよう、と。

私も読んでますので、当然社員がそれを読んでどんな事を感じたのか、分かります。もちろん感じ方は人それぞれなので、私とは違う社員もいます。

たまには粗筋だけ見て、読まずにレポートを書く社員もいます。でも本や自己啓発からは、自分自身学ぶことができます。

それは自発だから…

たとえ会社で研修やっても、社員教育しても、それぞれの社員が自分で気が付かなければ、絶対成長はしないです。

時々うるさい小言も言いますが、気が付くまで変わらないです。表面は変わったみたいに見えますが、時々本気で読書くらいしないと、いつまでも変わらない気がします。

社員を見ていると分かります。精神的に成長している社員は、本気で本を読んでいます。気が付く筈です。だって40過ぎてから、私も色々気が付きましたから…

別に読書研修は、社員の企画なので私的にはどうでもいいのです。ただ本も読まない社員は、本当の所には気が付かないから、ドンドン差が付いていくよ、って話しです。

### パソコンからFCCブログをチェック!!

FCCニュースに掲載しているブログ記事以外にもFCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿されています。

気になった方は

ゴキブリ駆除 FCC

検索

トップページから全てのブログにアクセスする事が出来ます。

# FCC社員コラム

## 異常気象

最近、最近、各地で異常気象が多数、発生しています。突然の大雨や雷、ひょうが降ったり、竜巻が起こったり、非常におかしなことになっています。竜巻は、あれだけの被害を及ぼし死者も出ています。映画やアメリカの気象だけであると思っていましたが、恐ろしい限りです。また、この数日は気温が上がり、熱射病患者も出ています。

何かが、日本の環境で変わってきていると考えられます。昨年の東日本大震災も、同様ですが、徐々に何かが起こりつつあります。だから、私達一人一人が、今出来る環境の取り組みを一つでも行い、環境を良くするために、日々の小さな働きかけが必要だと思います。

FCCでも、近隣清掃やビーチクリーンなど、少しのことから始めています。プライベートでも、近隣を清掃したり、周りの自然に悪影響を与えないよう、資源を守って生活していくことだと思っています。必要ない物は、買わず使わない精神を大切に生活していければと考えています。



### 【生活のムシ、ハエ(1)】

田園風景、たとえば、青々とした「水田」が広々と続きそこには、“燕(ツバメ)”が飛び交う長閑かな風情を思いうかべる。

ところが、この所、「ツバメ」の姿をあまり目にしなくなった。調査によると昔の状況から約30%も減ったと言う。

この原因は、人の生活の場が著しく変化したことにあると言う。そういえば、確かに、生活の場から水田が激減し、建屋の構造も大きく変わってきた。

いずれにしろ、日常生活の場から“見慣れた生き物”に変化があると言う事は、何か生活の バランスに異常をもたらせている事の「証し」には違いない。

それが、人にとっても良い事なのか、あるいは悪い事なのかは、急には判らない。しかし、何か異常が起った場合、先に、気付いた現状にやはりそうだったのかと重ね合わすことが出来る。

燕もさる事ながらもっと生活の場に密着した生物、風物を物語る虫に「イエバエ」が居る。これも、生活の場のバランスを示す。

実は、この「ハエ」は、人の営みと密着な関係があるのだ。人の生活の場に喰いつき生活をして居り、日常生活の中の人間らしさを醸し出す生物なのだ。

かつて、日本的な生活の場では、この「ハエ」が、“やれ打つな ハエが手をする足を”と言う俳句が詠まれるような風情があった。

今日、こんな場面を思い浮かべる事の出来る人は、どの位あるのだろうか。

いよいよ、「虫」のシーズンがやって来たが、その虫対策を考える前に、身近な虫、「ハエ」を見直しながら何をするかを考えてみよう。

今、多くの人には、「ハエ」と言うと“悪い虫”と思いがちである。また、テレビのコマーシャルには退治される虫として盛んに登場する。では、「ハエ」は本当に、そんなに悪い虫なのだろうか。

「イエバエ」は、もともと「家畜的」な、温かい虫であって、人との生活のバランスが取れている場合にあっては、特に悪いことをしでかすことはない。

こんな「ハエ」の仲間、おおよそ100種前後で、良く知られているのが、イエバエ、フタスジイエバエ、ノイエバエ、コイエバエ、ハラアカイエバエ、ウスイロイエバエ、クロイエバエの7種である。

イエバエの生活史は、卵期、幼虫期、蛹期および成虫期を持つ完全変態種なのである。

発生の時期は、本州、四国、九州などで5月～6月と9月～11月の2回の発生ピークがある。ただし、北海道などは8月に1回の発生ピークがある。

イエバエの成虫は、屋内活動性がある、野外の発生源からも屋内に飛来・侵入する。また、幼虫の発生源は、ゴミ箱、野積、雑芥類、畜舎あるいはゴミ埋立地などである。この多くは、人の造り出した「生活残渣」や副産物なのである。

また、イエバエが、人に被害をもたらすのは、発育段階の中で「成虫」の時期である。ときには、食品類に「幼虫」が発見されて、問題になる例があるが、これは、人の油断なのだ。

ハエの成虫の移動距離であるが自力の飛行力は400メートル前後である。なかには状況により1キロメートルから8キロメートルと言う例もある。しかし、多くは、人家内や施設内や周辺に限られる。

こんな「ハエ」を悪者化させたのは、どうも人間の側に原因がありそうだ。人とハエの共同生活の歴史の中で、原因と考えられるのは、人口の増大と生活様式の変化によるものらしい。

人の過密化と文化的と言う、生活の便利さは、生活残渣の増加をもたらしたハエの発生源を広げる結果となった。

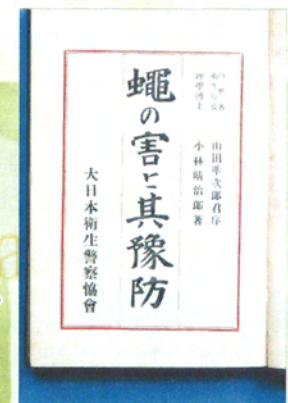
この所、家庭から「ハエ」の姿を見なくなったと言う状況がある。生活空間にハエが姿を見せなくなった事は、人の生活に自然とのバランスの崩れを暗示するものだ。

イエバエが住めなくなった生活の場、どうなっているのか環境の時代の眼で見直す必要がある。ハエは、近代化と言う歩みの中で、悪者化が進んだ。最初は、明治時代の「伝染病予防法」の中で、衛生害虫と位置付けられた。

「ハエ」の事件簿を追って、生活の場の「環境衛生」を考えたい。(つづく)

#### 【写真説明】

たかが、“ハエ”と言うが、旧時代は内務省の御指名の害虫だった……



# 生活の豆知識

上手な生ゴミ処理でエコ活動

最近ぐっと気温が上昇し、虫たちも活発に活動する季節になりました。

夏が近付いてくると心配なのが、生ゴミの処理。

生ゴミから臭いが発生し、コバエが集ってくるには処理に問題がある場合が殆どです。そこで、今回は生ゴミを上手に処理し、エコにも繋がる生ゴミの出しかたを紹介したいと思います。

日本では年間の生ゴミの排出量が1000万トンにも上るとか。

年々少しずつ減少してはいますが、これは日本で1年間に食べられているお米の量と同じです。人口約1億2000万人で割ると1人当たり83キロ。4人家族なら332キロ。ちょっとびっくりするような量ですね。

調理くずや食べ残し、賞味期限切れなどで生まれてしまう生ゴミですが、実はその約80%が水分だっでご存知ですか。4人家族で332キロといってもその大部分は「水」。生ゴミの処理には、水を燃やすために莫大な費用をかけているという面もあるのです。

家庭で水分を絞る、濡らさないなどの工夫をして、生ゴミの水分を半分に減らせれば200キロ、完全に乾燥させれば年に66キロにまで、生ゴミの重量を減らすことができます。

また、実は、生ごみの悪臭や腐敗の主な原因は、生ゴミに含まれる水分なのです。水分量を減らすだけで、重量を減らすことだけでなく、生ゴミの悪臭・腐敗の防止にもなります。

他にも、生ゴミの水分量を減らす事で、ゴミを運ぶ収集車の燃費が良くなり、必要以上に水分を燃やすことがなくなるので、CO2の削減にも繋がります。エコに繋がるわけです。

単に絞るだけでも充分生ゴミの水分量を減らす事は出来ますが、もっと水分量を減らして、コバエが寄り付かない、ゴミが腐敗しにくい方法をいくつか紹介します。

- 野菜くずや果物の皮は三角コーナーに捨てずに、食品トレイの上に乗せて乾かしてから、捨てます。



- ティーバッグは乾燥させてから出します。

- お茶がらは手で絞ります。しっかりしぼれます。  
(※抵抗がある人はゴム手袋などをして絞りましょう。)



- 排水口の水切りネットは浅くセットし、こまめに生ごみをさらいます。

- 野菜の皮はざるなどに入れて、水に濡らさないようにします。



もともと乾いているものは極力濡らさない、排水溝には溜めない、ネットのゴミはなるべく手や道具を使って絞る。これを頭に入れておけば、今年の夏は臭い・虫知らず間違いなしです。

生ゴミはゴミの中で一番処理したくないものですが日頃から処理をしておけば台所を清潔な状態に保てるので、ぜひ、今回紹介した生ゴミの処理の方法を試してみてください！

FCC商品紹介

## ナチュラルエアー

森の自然力で室内の悪臭  
カビ菌を協力除去します！



¥1,680(1本)

F-118は118種類の天然成分から抽出した純植物性液で天然マイナスイオンをそのままの形でお部屋に放出し、悪臭除去・除菌します。

手軽に使えるガンスプレータイプですので、臭いが気になる箇所にシュッと一吹きして頂くだけで、森の香りが広がり、様々な悪臭を除去します！

ウィルスや細菌も除菌する効果もありますので、インフルエンザ対策としても有効です！

FCCオリジナルエコ商品の販売や、衛生に関する店長ブログなどもあります！

気になった方は

衛生用品.com

検索